



## 未来へ続く鶴工の襷

3月1日、263名の卒業生が鶴工の学び舎を後にしました。2年前に初めて会った頃と比べ、皆が大人の表情になったことを、改めて実感しました。実習や課題、資格試験に加え、部活動や各種コンペなど、工業高校での3年間は決して平坦な道のりではなかったことでしょう。途中、思うようにいかず挫折を経験した生徒も少なくなかったと思います。しかし、こうした経験を早い時期に積むことは、決して無駄にはなりません。どうか次のステージでも、挑戦することをやめないでください。チャレンジしないことこそが、最大のリスクです。恐れずに一歩前へ踏み出して欲しいと願います。鶴工120年の歴史へと、襷をつないでくれた卒業生の皆に心から感謝します。



## 成長と新たな一歩

3月24日に修了式を行い、令和7年度の教育課程を修了しました。この1年間で、生徒たちに手渡した表彰状は183枚に達し、その功績を称えとともに、来年度の更なる活躍に期待する旨を伝えました。また、4月9日には新入生が入学し、1・2年生は「先輩」としての立場になります。身だしなみや挨拶で模範となり、ルールやマナーを守り、場に応じた適切な言動ができる「格好いい先輩」、相手の立場に立って励まし合い、支え合う「信頼される先輩」という理想像を示しました。さらに春休みには、将来を見据え主体的に進路を選択できるよう、情報収集と対話を重ね、家族と話す時間をつくって欲しいとお願いをし、式を閉じました。

## 自らの手で安全を！最優秀賞の快挙

大分市内の高校が自転車の盗難防止を競う「鍵かけグランプリ2025」で、最優秀賞に輝き、3月6日大分中央警察署で表彰式が行われました。3か月に及ぶ期間中、生徒たちは積極的な声かけを継続し、9割以上の施錠率を達成しました。県内の自転車盗難の約8割が無施錠と言われる中、地道な努力で安全な環境を作り上げた皆の行動力は大変立派です。この素晴らしい成果を讃えるとともに、今後も全校でこの習慣を続けていきましょう。 [OBS大分放送](#)



3月27日に離任式を迎え、転任される17名の先生方とお別れることとなりました。私も国東高校へ異動いたします。生徒と共に過ごした2年間は、忘れられない宝物であり、感謝の気持ちでいっぱいです。鶴工生は一人ひとりがそれぞれの持ち味を持ち、誰にも真似できない魅力を持っていると感じています。可能性は無限大です。自分の限界を自ら決めることなく、挑戦し続けて下さい。この別れを力に変え、私自身も挑戦を続けていきます。120<sup>th</sup>に幸あれ、I♡鶴工！